

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者もしくは代諾者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	気道異物による窒息に対する多施設前向き観察研究		
② 実施予定期間	承認後 ～ 2023年3月31日		
③ 対象患者	2020年4月1日から2023年3月31日までに気道異物による窒息で救急搬送された患者さん		
④ 対象期間	2020年4月1日 ～ 2023年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	救急科		
⑦ 研究責任者	氏名	徳田裕二	所属 救急科
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 患者情報：年齢、性別、既往歴、生活歴、ADL、介護度 病院到着前情報：発症状況、時間経過、現場でのバイタルサイン、異物の種類、閉塞部位、心肺停止の有無、気管挿管の有無、アドレナリンの投与量 病院到着後：到着時のGCS、気道異物除去時の臓器損傷の有無 治療法：異物除去の方法、気管挿管、低体温療法 転帰：発症30日後のCerebral performance category scale（通常診療範囲内で収集可能な場合のみ）		
⑨ 研究の概要	日本医科大学付属病院を代表施設とし、日本救急医学会に所属している全国の救命救急センター等において「気道異物による窒息に対する多施設前向き観察研究」を行っており、当院でもこの研究に協力しております。本研究は、窒息の現状を把握し、気道異物による窒息に対する最も効果的かつ安全性の高い応急処置や治療法を検討することを目的としています。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	日本救急医学会に属します		
⑭ 研究の資金源	日本救急医学会の研究費で賄っています。		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。		

⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 救急科 徳田裕二	
	電話	0942-35-3322